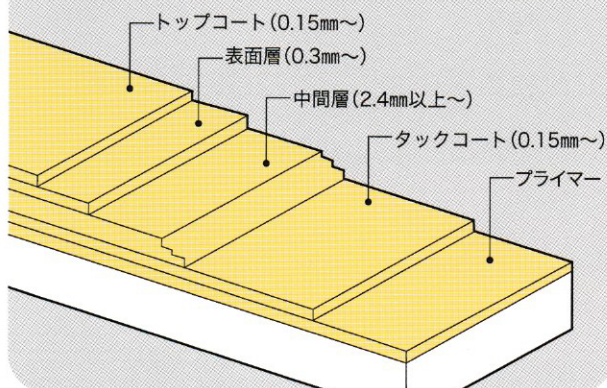


接着ライニング工法

接着ライニング工法(標準膜厚3mm~)K-S



金属・コンクリートの素材を強化層として、耐薬品性に
応じた合成樹脂とガラス繊維で、平均膜厚3mmの被膜
を密着積層し、一体化する手積工法です。

槽・タンク・大口径パイプ・塔・床など、あらゆる材質と用
途に使用が出来る代表的な重防食工法です。

特 長

● 経済性に優れている。

標準積層3mmのライニング層で、防食・耐久性に優れ、
保守・保全の低減、設備の長期保護によるランニングコ
ストを軽減します。

● 耐久性が優れている。

各種樹脂の選定により、金属・コンクリート等の構造物
にライニングすることにより、腐食防止・耐久性に抜群
の性能を発揮します。

● 密着性に優れている。

下地調整とプライマー樹脂の選定により、あらゆる素
材に接着することが出来ます。各母材と一体構造物と
する事により、薄い被膜で重防食を発揮出来ます。

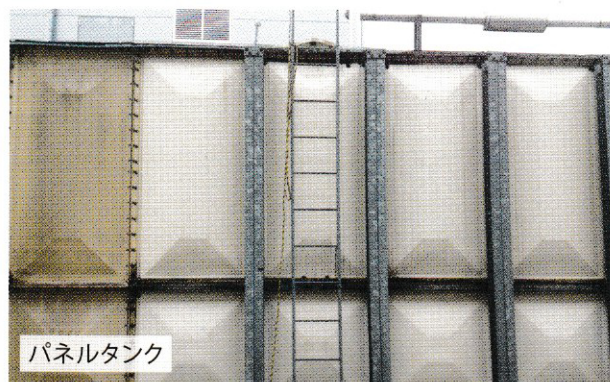
● 常温硬化性です。

樹脂に硬化剤を混合する事により、自己反応熱により
硬化するので現場施工が容易です。どんな形状・大き
さにも施工可能です。

万一破損が生じて、補修も短時間で同一に直せます。

用 途

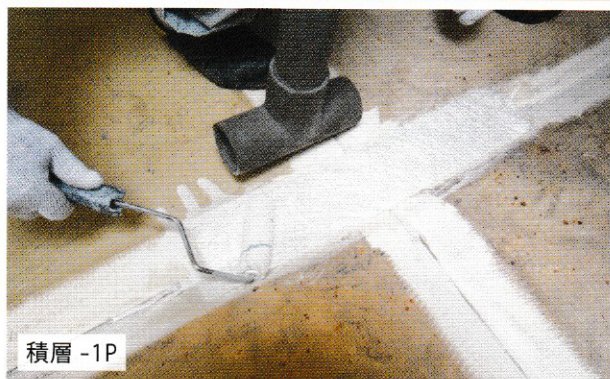
水槽・海水槽・鋼管・メッキ槽・ヒューム管・耐薬槽・
耐薬床・パネルタンク・クーリングタワー



パネルタンク



プライマー塗布



積層-1P



積層-3P



トップコート仕上げ